

# IXに求めるもの

ソフトバンクテレコム株式会社  
工藤 真吾

# それはJANOG29にて

- 「peering in japan」 というプログラム
- 日本のpeering事情について議論が行われましたが、若干既存のIXに批判的な話題もあったような気がしています
- それを受けて「カウンターパート」として少し話させてください

•

•

# peeringを支えるIX

- peeringするところといえばIXですよね？
- みなさんのpeerを支えるために頑張ってます
  - 耐障害性の向上→光スイッチとか
  - peering環境の向上→経路交換系のサービスとか
  - 遠隔地からでも接続したい→某広域IXを使ってみる
  - もちろんIPv6対応も
  - その他にも地域分散してのIXの設置とか
- IX事業者も頑張ってるんです！！

•

•

# 事業者として

- ユーザー間（AS間）に流れるトラフィックには「**責任**」を持つ必要がある
- 提供しているサービスは「**継続**」しなければならない
- 「**安定**」した環境を提供する義務がある
- 「**事業**」である以上、「**コスト**」は抑えなければいけない

•

•

# 例えば...

- すごく新しい仕組みを考えついても
  - それが「**事業**」として成り立つか
  - 「**責任**」を持ってユーザーに提供できるレベルか
  - 一度提供した後「**継続**」してサービスを提供できるか
- 安い機器を見つけてきたとしても
  - 「**安定**」した運用を行えるものか
  - 総合的に見てオペレーション「**コスト**」が上がらないか
- 他にも何らかの「**制約**」は付き物

•

•

# ところで...

- peerしたいんだよね？
- peerしたくないBGPオペレータっている？
- そんなにトランジット安い？
  - いや、安くなってるのは知ってるんですが...
- 安くしろと言われても限界はあります
  - そんなことは知ってるとか言わないで
- 何かもっと違うところに問題無いですかね？

•

•

# 本当に必要なものは？

- IXの利用者が心の底から望んでいることとは？
- 提供者と利用者の感覚の「ズレ」というのはどんなサービスにもあるはず
- 価格的な安さ以外にも何か足りないものない？
  - 明日からポート単価が半額になることはない
  - 急に明日から数々の制約が無くなる訳でもない



# ということで

- もっともっと、利用者と提供者でお互いの本音をぶつけ合って、「あるべき姿」を模索していくことが重要
- だって、IX事業者はトラフィック流して欲しいし、利用者は流したいはず！！
- 「みんなが幸せ」になれるように！！